

2025/10/19 「風を待つ」 使徒 1:3-5 交・詩編 31:22-25、さ 3 2 1、せ 5 6 9

スポーツの秋、読書の秋、音楽の秋です。今週は二十四節気の霜降。早くも遠くに冬の訪れを感じる季節になりました。元気をつける、秋の味覚を楽しみながら、霊肉共に強められて歩みましょう。

40 日間のセッション

聖書には、意味のある数字があります。3、7、12、そして40。これらは、神さまの御業の完全を表す数字です。特に40は、その揺るぎない完成を表す象徴的な数字として、用いられます。モーセの出エジプトで荒野を彷徨う40年間や、イエスさまが悪魔の誘惑を受けられた40日間、ノア方舟に振り続けた40日40夜の雨などがその代表です。

今朝のイエスさまの復活された場面でも、40日間にわたってイエスさまと弟子たちが神の国について学びの期間（セッション）を受けた、と記されています。振り返ってみれば、エルサレム入場から復活までは1週間（7日間）、ユダの裏切りから復活までは3日間でした。その受難は、むごたらしい場面ですが、それにもかかわらず、主イエスは今も生きておられるということを、40日間にわたって、実に5倍以上の時間をかけて、示してくださったのです。

「寝食を共にする」という言葉がありますが、弟子たちにとって、イエスさまとのこの期間は、あたりまえが、ありがたい毎日だったことでしょう。イエスさまは生きておられる、命は死で終わらない、そんな奇跡を、弟子たちは学んだことでしょう。

期待していいよ！

ルカの最後24章には、やはりイエスさまの昇天の出来事が記されています。そこには、とっておきのベタニヤのおみやげを受け取った弟子たちの姿があります。別れの場面にも関わらず「最高の喜び」を弟子たちは受けました。天から与えられる、思いもよらない恵みは、今朝の箇所にも記されています。それは聖霊による洗礼です。

イエスさまは「父の約束されたものを待ちなさい」と命じられました。待つ人の心理は、淋しさだと思います。ついていけない人の心情は、切ないものだと思います。しかし、イエスさまは聖霊による洗礼を、期待していてね、と言われました。残された人に、とびきりの祝福がやってくると、予告されたのです。

今以上のことはない、これ以上の幸せなんて、私なんかに起こるわけがない。それが、大人の当たり前の人生観でしょう。主の御心は、ちょっと違います。いいえ、全然違います。年老いたザカリヤは高らかに賛美を歌い、エリサベツはみごもりしました。マリアは救い主の母となり、羊飼いたちは飼料桶を見つけたではありませんか。弟子たちへの主の言葉は、私たちへのメッセージです。「期待しなさい」と。